



横浜市立恩田小学校 発行 平成29年 11月30日
学校だより 12月号



だれもが 安心して 豊かに

校長 古屋 澄人

先日、社会福祉法人岡山ライトハウス理事長 竹内 昌彦 氏の講演会を聞く機会がありました。竹内氏は乳児の時、高熱のため片方の目の視力を失い、後にもう片方の目の視力を失って全盲になった方です。小学校1年生のときは、片方の目が少し見えたので一般学級にて学んだそうです。しかし、目が不自由なためにひどいじめにあったとのこと。2年生の時、担任の先生が「竹内くんのためにクラスとしてできることはないか」と、子どもたちに提案しました。すると子どもたちは、座席は黒板の字が見やすい位置にした方が良くとか自分のノートを見せるなどの方法を考え、子どもたち同士で目が不自由なことが竹内少年にとって障害にならないように協力し合ったということでした。講演会の中では、竹内さんから健常者へのお願ひもありました。

○信号待ちをしている白杖を持っている人を見かけたら、声をかけてほしい。

○誘導してもらえるときは、右手の肘をつかませてほしい。(右手の肘の動きで、階段を下りるのか上るのがわかるということです。)

○点字ブロックの上にはものを置かないでほしい。点字ブロックに自転車が置かれていることが多いとのこと。

竹内氏の話の中で「人権を大切にすることというのは、周囲の人に対して優しい心をもつこと、周囲の人を大切にすること」「優しい家族に育てられた子どもは優しい子どもになる」という言葉が印象に残りました。

本校では12月1日(金)～12月8日(金)までを「人権週間」としています。「人権」とは、一人ひとりが生まれた時からもっている「自分らしく生きる」権利のことです。先日の朝会で、私は子どもたちに自分らしく生きるために次のように話をしました。

- ・自分の好きなところはどんなところか考えてみてください。
みんなは自分のどんなところが好きですか。読書が大好きなところ、絵が上手なところ、自分自身の良いところをたくさん見つけられたら、きっと自分のことがもっと好きになれる。
- ・お友達の好きなところってどんなところがあるか考えてみてください。
いつも優しいところ、話をしっかり聞いてくれるところ、お友達の良いところをたくさん見つけられたら、その子のことがもっと好きになるし、きっとお友達もうれしいはず。
- ・自分と友達の違うところってどんなところか考えてみてください。
一人ひとり良いところ、素敵なおところをたくさんもっていますね。それを「個性」といいます。みんなそれぞれ違うところを認め合いながら、自分や友達の良いところをたくさん見つけていきましょう。

本校では、4年生が「ハッピータウン計画」として総合的な学習の時間を利用して、福祉に関する学習を進めています。子どもたちは、自分を大切にしながらも周囲の人も大切にするためにできることについて考え、活動している真っ最中です。

恩田小学校は「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校をめざしています。子どもたちは得意なことや苦手なことも人それぞれ。みんなが一人ひとりやさしい気持ちをもって、困っている人がいたらそれぞれの得意なことを生かして助け合っている。そんな学校にしていきたいと思っています。